

2020年11月11日  
ぶぎん地域経済研究所  
ちばぎん総合研究所

埼玉県・千葉県企業アンケート調査の比較分析（第9回）

「ぶぎん地域経済研究所」および「ちばぎん総合研究所」では、千葉・武蔵野  
アライアンス（注）の下で、埼玉県・千葉県の企業アンケートに「決算状況」、  
「設備投資動向」について共通の調査項目を設定し、両県の比較分析を行った。

（注）16年3月に締結した包括提携契約。

埼玉県アンケート：ぶぎん地域経済研究所

業種別・規模別回答企業数

（単位：社）

	合計	企業規模	
		100人以上	100人未満
全産業	201	95	106
製造業	110	49	61
紙加工品等	10	4	6
化学・プラスチック・ゴム製品	10	4	6
鉄鋼・非鉄金属	10	4	6
金属製品	6	3	3
その他素材型	10	0	10
一般機械器具	12	8	4
電気・情報通信機械器具	10	1	9
電子部品・デバイス	10	4	6
輸送用機械	9	8	1
精密機械	5	3	2
飲・食料品	7	3	4
印刷・同梱連業	7	6	1
その他製造業	4	1	3
非製造業	91	46	45
一般建設	19	7	12
住宅建設	3	2	1
卸売	14	3	11
小売	19	12	7
運輸・倉庫	11	9	2
不動産	6	1	5
その他非製造業	19	12	7

調査要領	
1. 対象企業	…埼玉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方法	…郵送によるアンケート方式
3. 実施時点	配布：2020年7月21日 回収：2020年8月25日
4. 回答状況	…調査対象企業 542社 内有効回答数 201社 有効回答率 37.1%

（注）調査票の回収数は201だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数（母数：n）は異なる。

（注1）従業員100人以上を「企業規模の大きい企業（大企業）」に、従業員100人未満を「規模の小さい企業（中小企業）」とした。  
（注2）その他素材型は、繊維・衣服・その他の繊維、木材・木製品・家具、窯業・土石の3業種。

## 千葉県アンケート：ちばぎん総合研究所

業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

(単位：社)

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
全産業	222	197	25	87	135
製造業	114	100	14	23	91
食料品	22	18	4	7	15
石油・化学	11	8	3	3	8
プラスチック	7	6	1	1	6
窯業・土石	10	10	0	2	8
鉄鋼・非鉄金属	9	9	0	0	9
金属製品	15	11	4	3	12
一般・精密機械	9	8	1	3	6
電気機械	10	10	0	2	8
輸送用機械	10	10	0	2	8
その他製造	11	10	1	0	11
非製造業	108	97	11	64	44
建設	15	14	1	7	8
運輸・倉庫	13	13	0	4	9
卸売	17	13	4	11	6
小売	21	19	2	15	6
ホテル・旅館	10	9	1	5	5
サービス	32	29	3	22	10

注) 大企業、中小企業の区分は下記による。

大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

### 調査要領

1. 対象企業… 千葉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方法… 郵送によるアンケート方式
3. 実施期間… 配付：2020年 9月1日  
回収：2020年 10月12日
4. 回答状況… 調査対象企業 565社  
  内有効回答数 222社  
  有効回答率 39.3%

(注) 調査票の回収数は222だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数(母数:n)は異なる。

### \* (参考) 埼玉県と千葉県の比較

	単位	年次	全国	埼玉県	千葉県	
					順位	順位
事業所数	力所	2016	5,340,783	240,542	5	188,740
住宅着工	戸	2019	905,123	50,660	5	45,946
商店数	千店	2016	1,355	57	6	47
商品販売額	百億円	2015	58,163	1,835	7	1,351
製造品出荷額等	百億円	2018	33,181	141,470	6	131,432
延べ宿泊者	万人	2019	59,592	544	31	2,923

事業所数(2016年)

(単位:力所、%)

	埼玉県		千葉県	
	力所	構成比	力所	構成比
<b>全産業(公務を除く)</b>	240,542	-	188,740	-
農林漁業	576	0.2	1,001	0.5
鉱業, 採石業, 砂利採取業	33	0.0	60	0.0
建設業	25,762	10.7	19,912	10.5
製造業	26,691	11.1	11,082	5.9
電気・ガス・熱供給・水道業	132	0.1	131	0.1
情報通信業	1,684	0.7	1,457	0.8
運輸業, 郵便業	6,909	2.9	5,504	2.9
卸売業, 小売業	56,851	23.6	47,017	24.9
金融業, 保険業	3,049	1.3	2,821	1.5
不動産業, 物品賃貸業	16,584	6.9	12,233	6.5
学術研究, 専門・技術サービス業	8,573	3.6	6,831	3.6
宿泊業, 飲食サービス業	27,883	11.6	25,104	13.3
生活関連サービス業, 娯楽業	22,637	9.4	19,310	10.2
教育, 学習支援業	9,056	3.8	6,903	3.7
医療, 福祉	20,058	8.3	16,820	8.9
複合サービス事業	937	0.4	981	0.5
サービス業(他に分類されないもの)	13,127	5.5	11,573	6.1

(出所: 経済センサス活動調査)

産業分類別 製造品出荷額等(2018年・従業員4名以上)

(単位: 億円、%)

	埼玉県		千葉県	
	億円	構成比	億円	構成比
<b>製造業合計</b>	141,470	-	131,432	-
<b>素材型</b>	43,087	30.5	82,899	63.1
化学	17,275	12.2	23,509	17.9
石油製品・石炭	395	0.3	31,257	23.8
鉄鋼	3,824	2.7	17,423	13.3
プラスチック	6,950	4.9	3,146	2.4
窯業・土石	2,722	1.9	3,022	2.3
繊維	901	0.6	234	0.2
非鉄金属	6,018	4.3	3,028	2.3
パルプ・紙・紙加工品	5,002	3.5	1,281	1.0
<b>加工型</b>	58,784	41.6	21,647	16.5
輸送用機械器具	27,027	19.1	1,240	0.9
電気機械器具、情報通信	5,409	3.8	1,906	1.5
業務用機械器具	4,741	3.4	1,156	0.9
生産用機械器具	5,869	4.1	6,036	4.6
電子部品・デバイス・電子回路	3,652	2.6	2,147	1.6
はん用機械器具	4,433	3.1	2,363	1.8
金属製品	7,653	5.4	6,799	5.2
<b>生活関連・その他</b>	39,599	28.0	26,885	20.5
食料品	20,286	14.3	16,385	12.5
飲料・たばこ等	2,049	1.4	3,913	3.0
印刷・同関連業	7,246	5.1	1,047	0.8
その他(ゴム・家具等)	10,018	7.1	5,541	4.2

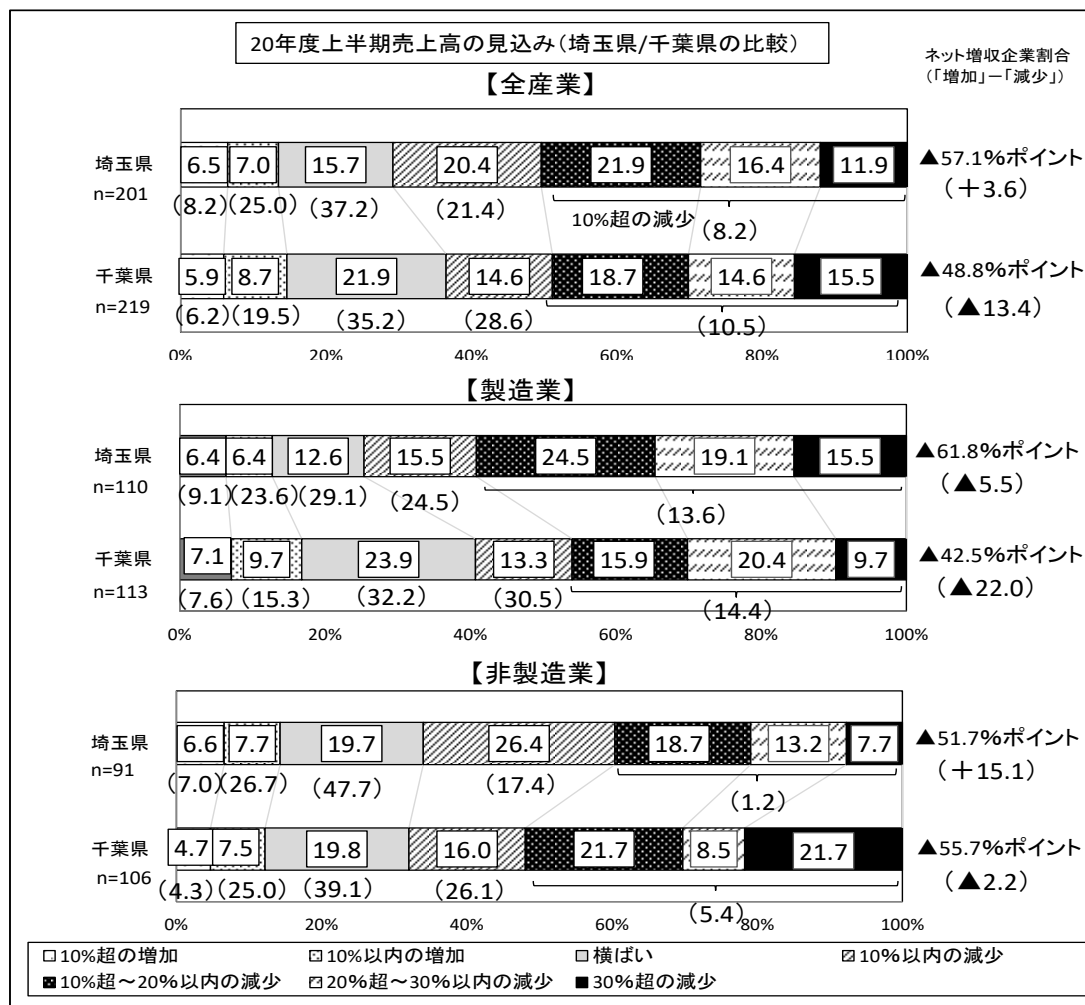
(出所: 工業統計調査)

## 20 年度上半期業績見込み

決算状況は、20 年度上半期実績見込み（対 19 年度上半期比）と 20 年度通期見通し（対 19 年度通期比）について調査した。

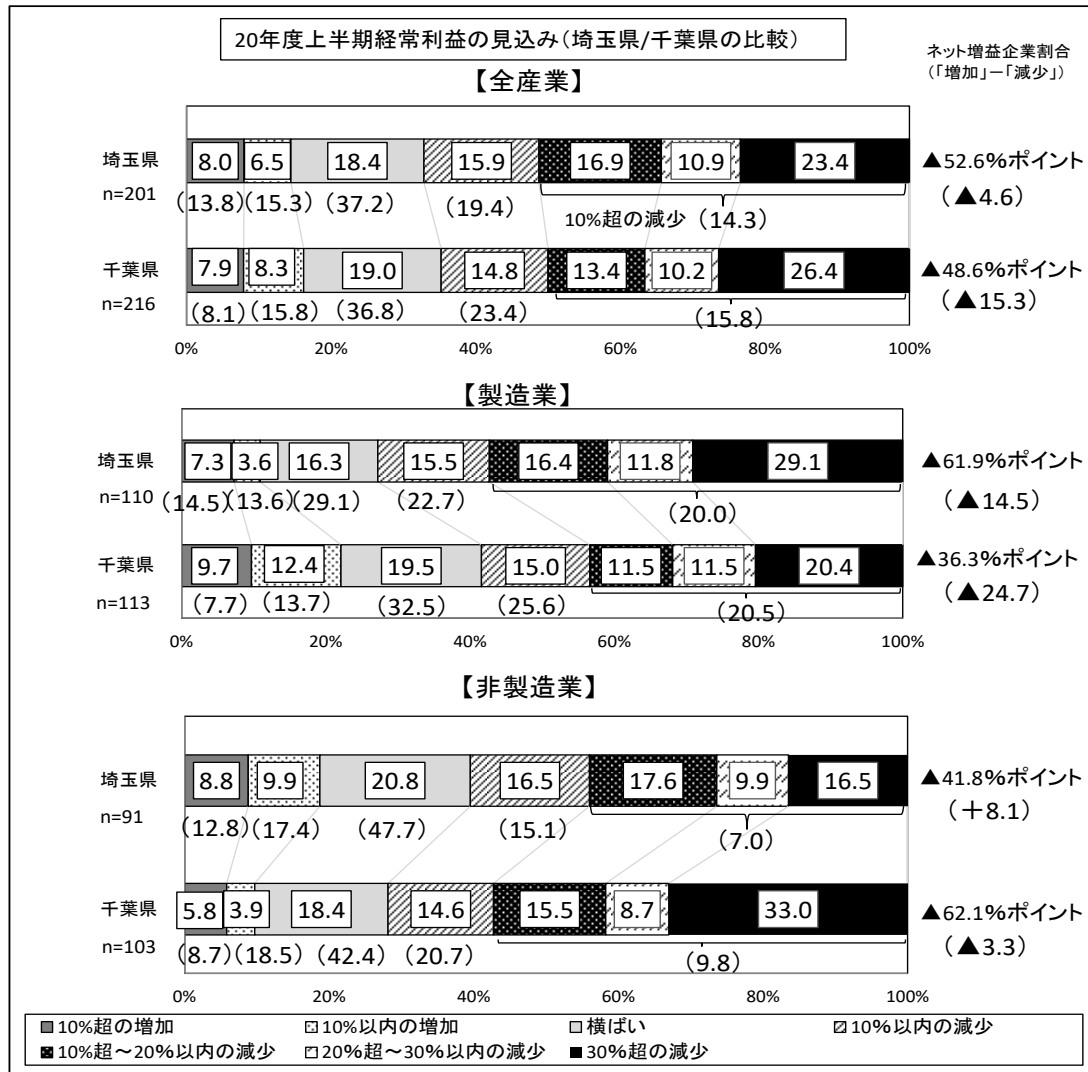
上半期の売上高をみると、「増収」社数構成比から「減収」社数構成比を引いた「ネット増収企業割合」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、埼玉県、千葉県ともに大幅なマイナス（減収企業超）となった。

売上高のマイナス幅は、製造業において自動車関連など加工組立型産業が多い埼玉県が千葉県を大きく上回ったことを主因に、全産業でも埼玉県が千葉県を上回った。



( ) 内は各県の前年調査実績

経常利益の「ネット増益企業割合」も両県ともにマイナス（減益企業超）となった。売上高と同様、製造業を中心に埼玉県のマイナス幅が千葉県を上回った。



( ) 内は各県の前年調査実績

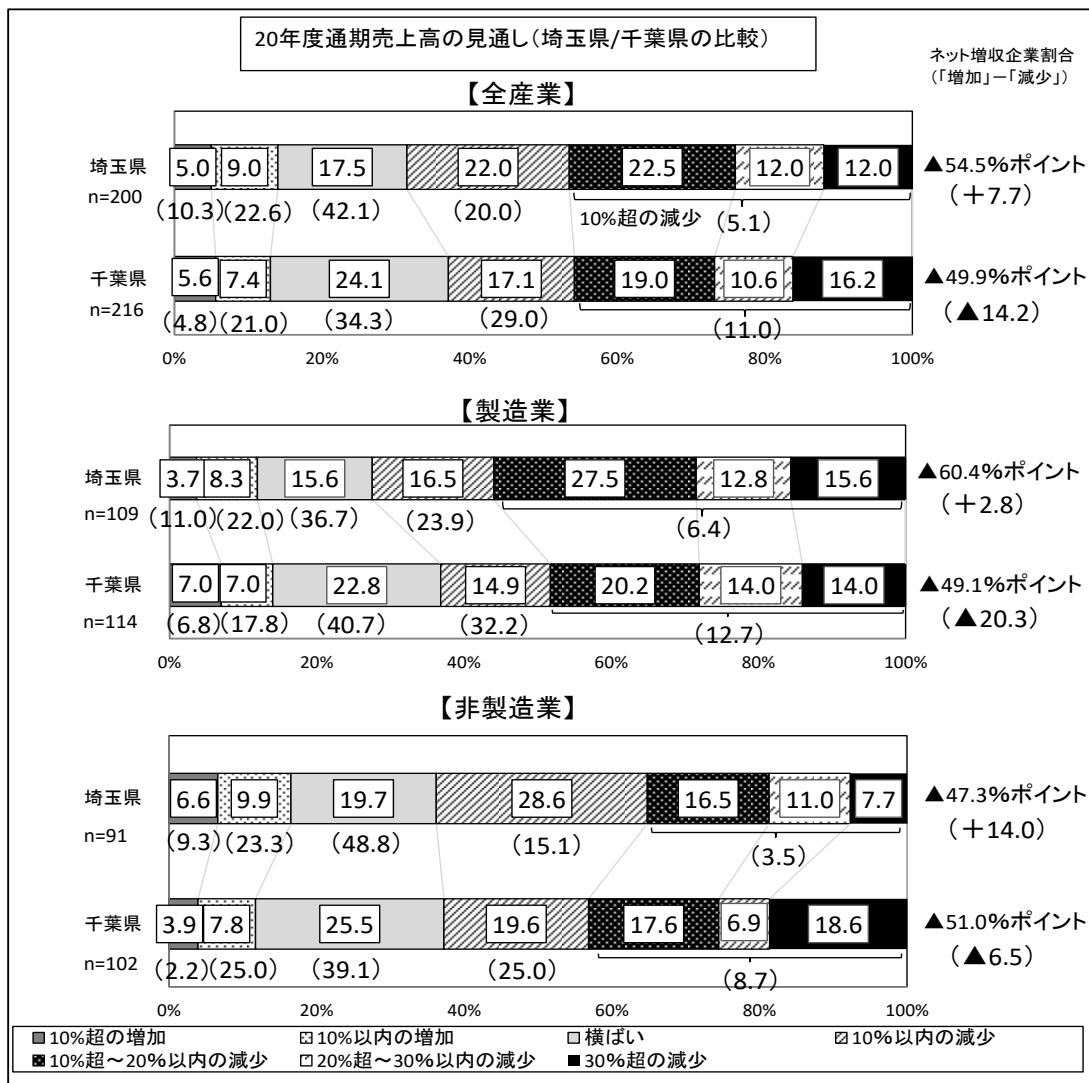
		調査期間	回答数	期間中の日経平均 終値平均	期間中の為替相場 (ドル円)の平均
埼玉	今回	20年7月21日～8月25日	202	22,737.49円	105.91円/ドル
	前回	19年7月31日～8月26日	197	20,702.44円	106.54円/ドル
千葉	今回	20年9月1日～10月12日	222	23,333.86円	105.67円/ドル
	前回	19年8月31日～10月11日	212	21,582.49円	107.40円/ドル

### 20年度通期業績見通し

通期のネット増収企業割合も、埼玉県、千葉県ともに大幅なマイナス（減収企業超）となった。

全作業では、増収企業の割合（「増収」社数構成比）は、埼玉県（14.0%）、千葉県（13.0%）ともほぼ同じとなっている。減収企業の割合（「減収」社数構成比）は、埼玉県（68.5%）が千葉県（62.9%）よりも高くなっている。

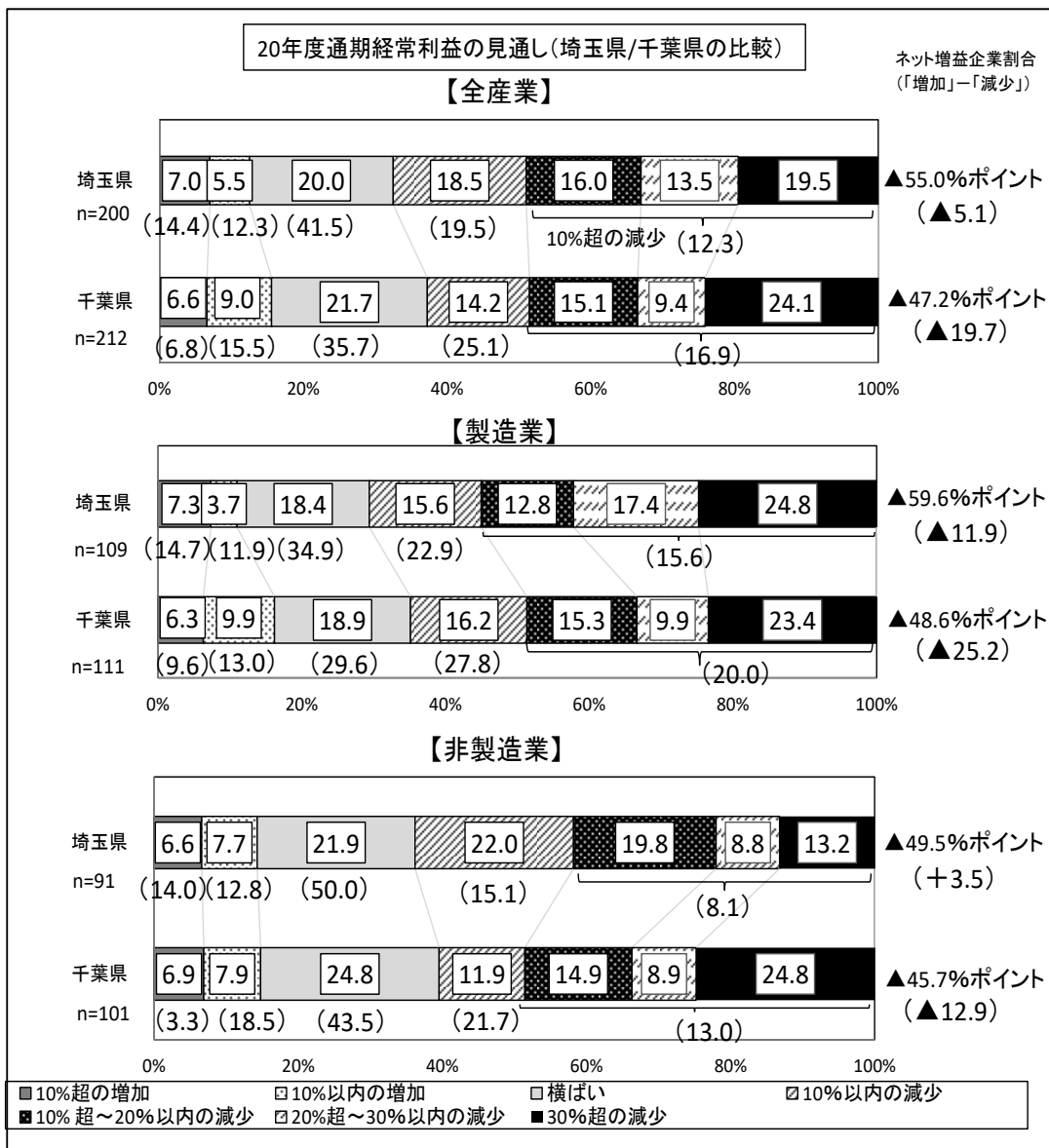
製造業では、増収企業の割合は、埼玉県（12.0%）、千葉県（14.0%）ともほぼ同じとなっている。減収企業の割合は、埼玉県（72.4%）が千葉県（63.1%）よりも約9ポイント高くなっている。非製造業では、増収企業の割合は、埼玉県（16.5%）が千葉県（11.7%）よりもやや高くなっている。減収企業の割合は、埼玉県（63.8%）、千葉県（62.7%）ともほぼ同じとなっている。



( ) 内は各県の前年調査実績

通期のネット経常増益企業割合も、埼玉県、千葉県ともに大幅なマイナス（減益企業超）となった。全産業では、増益企業の割合（「増益」社数構成比）は、千葉県（15.6%）が埼玉県（12.5%）よりもやや高くなっている。減益企業の割合（「減益」社数構成比）は、埼玉県（67.5%）が千葉県（62.8%）よりも高くなっている。

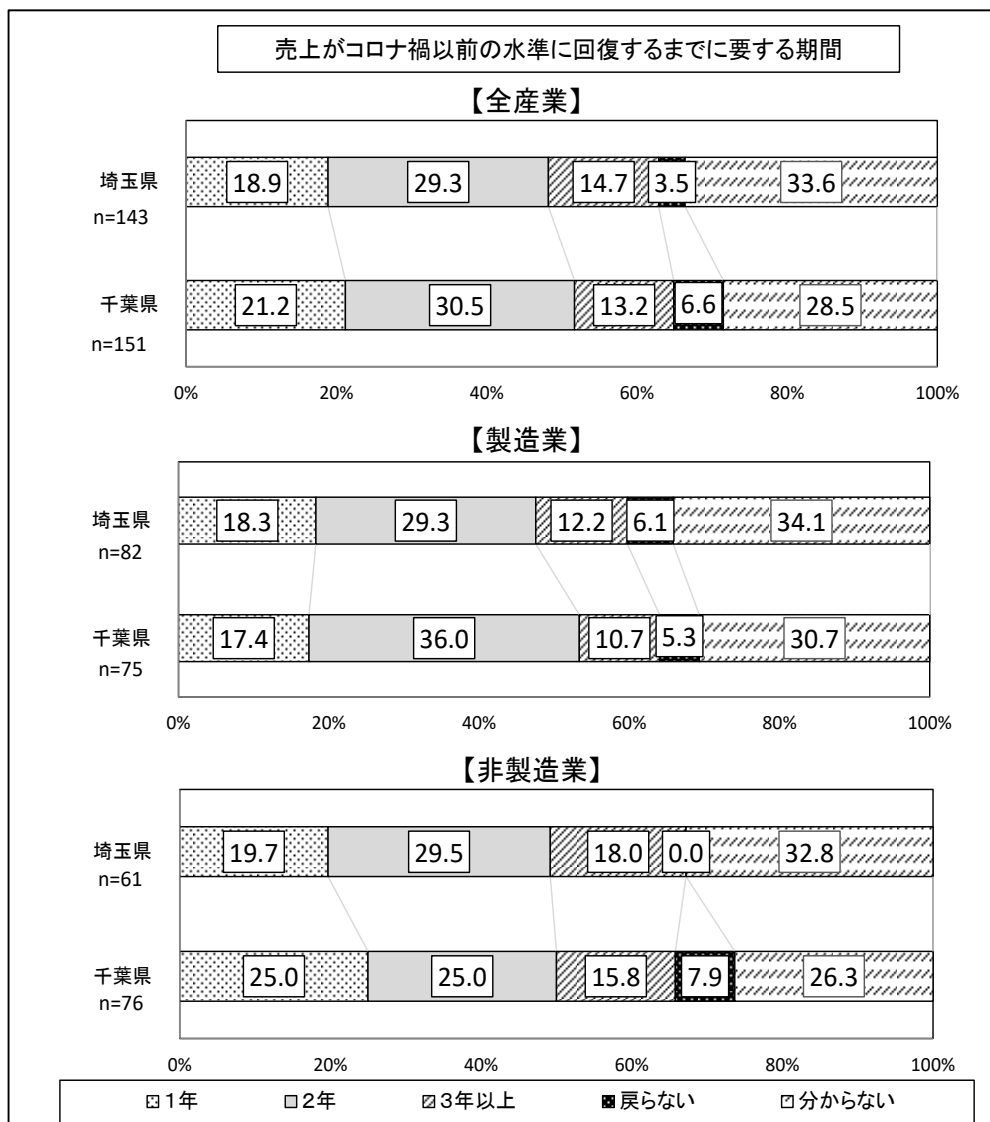
製造業では、増益企業の割合は、千葉県（16.2%）が埼玉県（11.0%）よりもやや高くなっている。減益企業の割合は、埼玉県（70.6%）が千葉県（64.8%）よりも約6ポイント高くなっている。非製造業では、増益企業の割合は、埼玉県（14.3%）、千葉県（14.8%）ともほぼ同じ割合となっている。減益企業の割合は、埼玉県（63.8%）が千葉県（60.5%）よりもやや高くなっている。



( ) 内は各県の前年調査実績

### 売上がコロナ禍以前の水準に回復するまでの期間

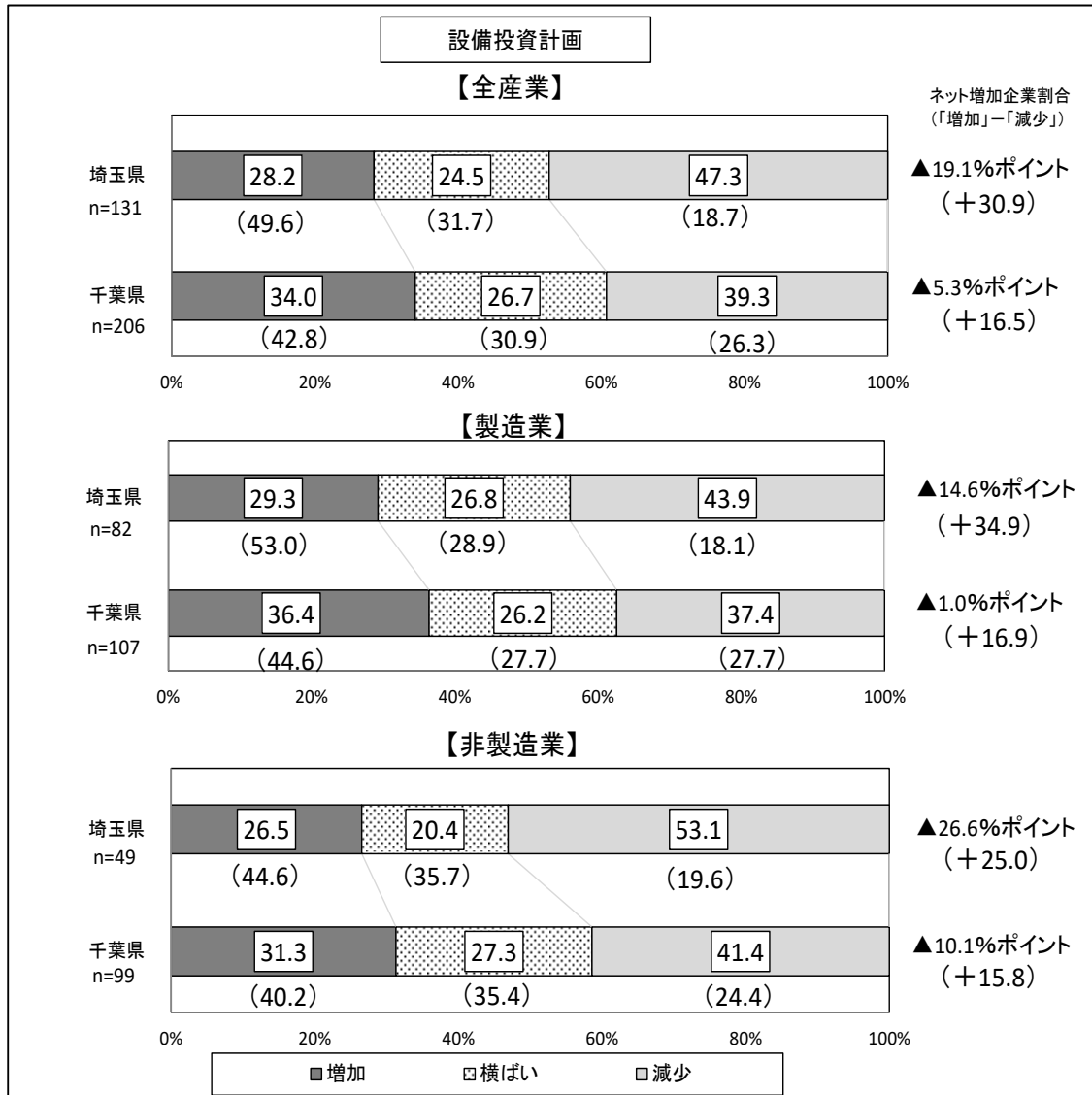
売上がコロナ禍以前の水準に回復するまでに要する期間は、埼玉県、千葉県ともに「2年」とする先が最も多かった。



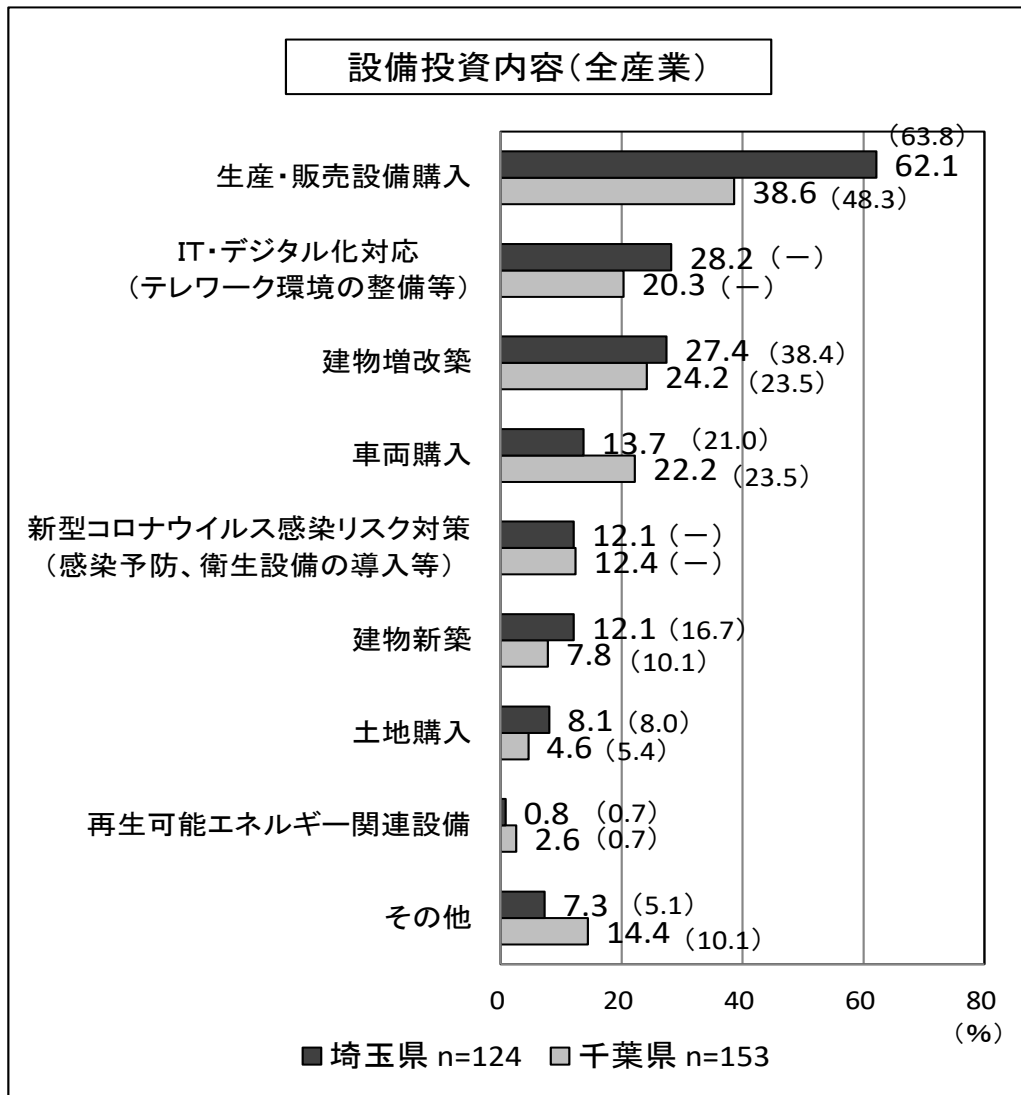


### 設備投資の動向

20年度のネット設備投資増加企業割合は、埼玉県、千葉県ともにマイナス（減少企業超）となった。投資を抑える企業の割合は、製造業・非製造業ともに、埼玉県が千葉県を上回った。



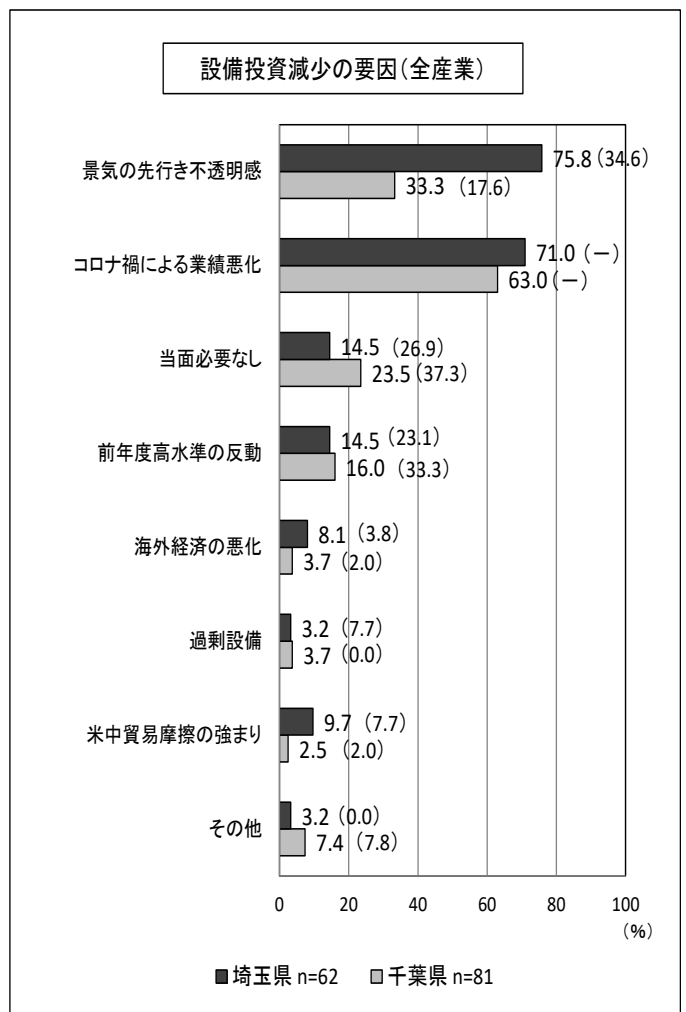
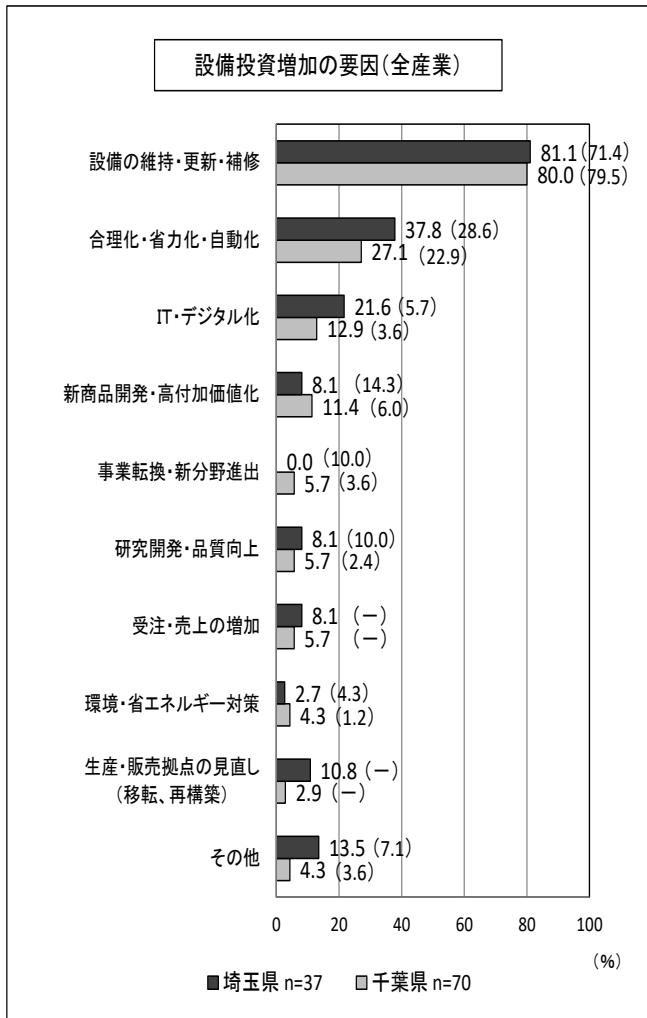
計画している設備投資の内容をみると、両県ともに「生産・販売設備購入」を挙げる先が最も多かったが、購入予定の社数割合は前年を下回った。テレワーク環境の整備など「IT・デジタル化」に取り組む企業は、埼玉県で2番目に多く、千葉県では4番目だった。



( ) 内は各県の前年調査実績

設備投資増加の要因は、両県とも「設備の維持・更新・補修」が最も多く、「合理化・省力化・自動化」がこれに続いた。

設備投資減少の要因は、埼玉県では「景気の先行き不透明感」が約8割となり、「コロナ禍による業績悪化」を挙げる先も7割超となった。一方、千葉県では「コロナ禍による業績悪化」が6割強で、「景気の先行き不透明感」が続いた。



( ) 内は各県の前年調査実績

以上